

津軽広域連合地球温暖化対策実行計画に基づく令和7年度の点検結果について

令和8年5月11日

津軽広域連合では、温室効果ガスの排出を抑制し地球温暖化の防止を図る目的として、平成30年3月に「津軽広域連合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。また、計画期間の満了に伴い、令和4年8月には同計画の改定を行いました。

当連合では、本計画に基づき温室効果ガス排出抑制目標の実現に向け、地球温暖化対策の推進を図ることとしています。

- 計画期間：令和4年度 から 令和12年度 まで（9年間）
- 基準年度：平成28年度
- 目標年度：令和12年度
- 対象とする温室効果ガス：二酸化炭素
- エネルギー項目：電気、LPガス、灯油、ガソリン
- 資源項目：水道、一般廃棄物、コピー用紙

温室効果ガスの排出削減目標

平成28年度 (基準年度)	令和12年度 (目標年度)	削減目標
220,491 kg-CO ₂	108,041 kg-CO ₂	△51.0%

1 令和7年度の点検結果

		平成28年度	令和7年度		
		(基準年度)	(目標)	(実績)	増減率 (目標比)
温室効果ガス削減率	%		△45.50	△3.92	—
温室効果ガス排出量	kg-CO ₂	220,491	120,059	211,856.9	76.46%
(エネルギー項目内訳)					
電力使用量	kwh	390,008	320,391	375,888.4	17.32%
LPガス使用量	m ³	328	330	379.5	15.00%
灯油使用量	リットル	1,704	1,524	1,280	△16.01%
ガソリン使用量	リットル	744	374	339.1	△9.33%
(資源項目)					
水道	m ³	141	157	137.5	△12.42%
一般廃棄物	kg	108,993	65,214	47,979.1	△26.43%
コピー用紙	kg	2,280	1,820	1,592.5	△12.50%

2 令和7年度の点検結果の分析及び今後の取組

令和7年度における温室効果ガス排出量は 211,856.9 kg-CO₂ となり、基準年度である平成28年度と比較して 3.92%減少しましたが、令和7年度の削減目標（△45.50%）を達成することができませんでした。

その要因として、計画改定後の目標値が温室効果ガス排出量抑制に向けこれまでより低く設定されたことに加え、電力及びLPガス使用量が増加したことが挙げられます。

電力及びLPガス使用量は、当広域連合事務室が入居する建物全体の使用量が増加したことにより事務局の使用量も増加しております。また、使用する電気事業者別排出係数の変更に伴い、温室効果ガス排出量の数値が増加しました。

一方で、上記以外の項目（灯油、ガソリン、水道、一般廃棄物、コピー用紙）はすべて目標を達成することができました。

各使用量については、その年度の事務事業量や気候に左右される部分もありますが、今後も省エネルギー対策を進めるとともに、職員一人一人が事務や事業における温室効果ガス排出の削減行動を推進し、環境負荷の低減に取り組んでいきます。